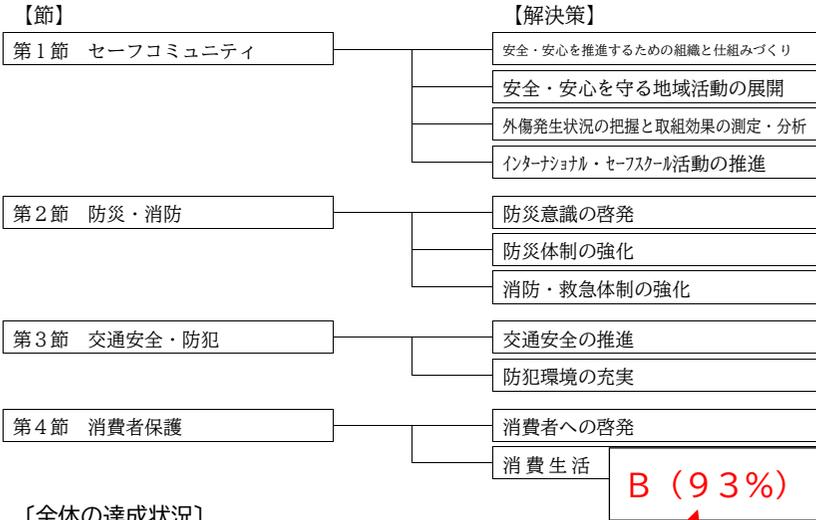


# 変更イメージ

## 第2章 安全で安心して暮らせるまちづくり



【全体の達成状況】

着手率 100% ・ 目標達成状況 ○

第2章では、4節11解決策に34の具体的施策を位置付けています。セーフコミュニティの再々認証やインターナショナル・セーフスクールの再認証の取得、防災体制の強化、交通安全や防犯体制の推進等に取り組み、全ての施策について事業に着手し、多くの事業について、当初の計画通り進捗しました。

【目指す目標の達成状況】

節	目指す項目	計画策定時 (H26)	目標 (R2)	実績 (R2)	達成状況
1	救急搬送件数（重傷外傷分）	88件	79件	146件	× <b>D</b>
2	災害備蓄数（食料）	10,536食	19,000食	19,260食	◎ <b>A</b>
3	交通事故死傷者数	421人	357人	144人	◎ <b>A</b>
	街頭犯罪認知件数	307件	260件	90件	◎ <b>A</b>
4	消費生活相談の開催回数	週5回	週5回	週5回	◎ <b>A</b>

## 第2章—第1節 セーフコミュニティ

【第1節の達成状況】

C (82%)

着手率 100% 目標達成状況 △

後期基本計画期間における9つの全ての施策について事業に着手し、一部の事業について、当初の計画通り進捗しませんでした。

【主な実施事業】

- セーフコミュニティの推進
- インターナショナル・セーフスクールの推進

【取組の成果】

- 平成30年度にセーフコミュニティ再々認証を取得しました。市内の様々な外傷データ等を分析することにより、取り組むべき課題を抽出し、その解決に向けた予防プログラムの構築・実践に、市民や様々な団体と継続的に取り組んできた結果、後期基本計画期間の5年間で、刑法犯認知件数は約40%、交通事故件数は約51%、交通事故負傷者数は約53%減少しました。
- 平成30年度にインターナショナル・セーフスクールの再認証を取得しました。実施校である曾我部小学校では、子どもたちが自分の安全目標を決定し、実行して振り返ることで、自らの身を守る力を育むとともに、安全意識の向上を図ることができました。各市立保育所・亀岡あゆみ保育園では、保育士や保護者・警察・地域の人が情報を交換し連携するなど、有効な取組を進めることができました。

☞セーフコミュニティ及びインターナショナル・セーフスクールの認証取得を通して、地域のつながりや市民との協働による安全・安心のまちづくりを推進しました。

【取組の課題と今後の方向性】

- 時代を取り巻く環境の変化に即し、新たな課題への対応を検討するなど、継続的に活動に取り組む必要があります。
- セーフコミュニティの普及啓発には市民との協働が不可欠であり、市民が主体となる活動の在り方を検討していく必要があります。
- インターナショナル・セーフスクールの再々認証は目指しませんが、活動は継続して取り組んでいきます。これまでの教育現場の創意工夫によって築き上げられた取組の実績と絆を活かし、継続した活動に取り組むための支援が必要です。